

まちづくりネットワーク

まちづくりネットワーク特派員募集

ネットワークから ネットワークキングへ

磐田NPO活動推進協議会（以下協議会）では、さまざまにまちづくりの情報をひとつの基点へ集約しようと、ネットワークからネットワークキングへとという事業を市から受託し実践へと展開しています。

昨年は、行政組織にもっと横への広がりとながりをもった情報発信を願って、市役所各課の持つまちづくりの団体との関連を意識したアンケートを実施しました。

今年はその意義を汲み取っていただけなのか各支所の地域振興課に協働推進担当も置かれ、ネットワークキングが更に進むことが期待されます。

市民からの発信

本誌では、昨年の19・20合併号で、市内のまちづくり団体の情報を掲載し、データベース化しています。まだまだ全ての団体を掲載しきれないものはありません。これからも機を見て追加紹介をしていきたいと考えています。

情報の集約場所のひとつが、協議会のホームページ（以下HP）です。HPには、ふたつのブログ掲載版があり、協議会の催しと、各団体・特派員によって投稿された情報を掲載しています。特派員は、身近なまちづくりの情報をメールとともに投稿しています。時には、地域密着の情報もあり、新聞紙上とは違うおもしろさがあります。



あなたも特派員に

もつと身近な情報をより多く集めたいと考え、さらに「まちづくりネットワーク特派員」を募りたいと思います。携帯電話の写真機能程度で十分です。イベントなどまちづくりの話題、情報の内容を数行と写真を協議会へメール下されば、補正してHPへ掲載していきます。インターネットを通じてあなたの情報を多くの人が見て、磐田を知ってくれることになるのです。投稿にはポイントをつけて、還元しています。学校の新聞部などの参加も歓迎します。

磐田NPO活動推進協議会

磐田NPO交流センター



お知らせ 皆様のイベント情報などお寄せ下さい

～平成20年度 磐田市協働のまちづくり委託事業～
「市民力パワーアップ講座」参加者募集!

日程 第4回 8月23日(土) 13:00～16:00
“伝える・魅せる”

協議会の活動

協議会の活動報告です。

各団体の活動+特派員報告

特派員の投稿はここに掲載されます。

今までHPに掲載された
特派員報告



2007年7月30日掲載
桶ヶ谷沼ざりがにまつり
大会参加



2007年7月23日掲載 ジュピロード夏祭り



2007年8月6日掲載 国際交流バーベキュー開催

磐田まちづくりネットワーク特派員の活動

- ① まちへ出る
 - ② 写真を撮る（数枚）
 - ③ いつ・どこで・だれが・どんなこと・どんな様子を簡単な文にする
 - ④ 写真を添付して、メールする
- ◆ 以下センターの仕事 ◆
- ⑤ 磐田NPO活動推進協議会HPへ掲載
 - ⑥ ポイント還元（特派員の登録が必要です）
- *あまりにも私的なこと、他人を中傷するような内容等は掲載できません。



iwata-npo@za.tnc.ne.jp

まちづくりの情報を集める

- まちづくり、ボランティアのイベント
- 子ども会、自治会の活動、ご近所の話題
- 花の見頃の情報、祭りの様子などなど



検討中です！

〔仮称〕協働のまちづくり推進条例

5月18日、当協議会の定時総会がありました。引き続き、磐田市企画調整課井熊光郎課長より条例制定の検討についての報告と杉田友司氏のお話がありました。



企画調整課長の報告

「今なぜ、協働か」

地域社会の状況が大きく変化し、行政では細やかな対応ができなくなってきました。

地域社会の課題に対して、市民自らが解決していくという活動が出てきており、市民力・地域力が高まっていくことで、より満足度の高いまちづくりにつながっていくと考えます。

しかし、「やたらと協働、協働：掛け声ばかりではないか」「協働の名

のもとに行政がやるべきことを市民に押し付けているのではないか」という市民の声もあります。

それぞれの場での報告や意見交換を重ねながらお互いの意識を高めていくとともに、条例検討委員会ですらに内容を深めていきます。

今後、シンポジウム等も開催し、より多くの意見を聞きながら、市民・市民活動団体・事業者及び市との協働のまちづくりを目指します。

「住みよい地域づくりへの挑戦」

磐田市自治会連合会会長
条例検討委員会副委員長

杉田友司氏

時代の流れの中で、価値観の変化とともに地域住民の意識の変化が生じ、自治会活動が進めにくい状況があり、小さきままな課題が山積みされています。人と人との関係

の希薄化、お互いさまの気持ちのうすれ等の中で、住民の合意形成の困難さが浮き彫りになってきています。これからは「自分たちの地域は自分たちで創る」という意識改革や行動力が問われることになり。

顔の見える関係づくりはもとより、市民活動をしている人たちも活動内容をPRし、NPOとしての専門分野をぜひとも地域に知らせてほしいです。



自治会連合会長の講話



これまでの“協働のまちづくり”への動き

	行政	市民参加
平成16年度	新市まちづくり計画	合併協議会
平成17年度	市町村合併（4月） 総合計画策定作業	「磐田未来会議」でまちづくりの理念として協働の必要性を提案
平成18年度	総合計画策定作業 「磐田市総合計画」策定（3月） 「協働によるまちづくりに向けての指針」策定（3月）	「磐田市協働のまちづくり会議」指針案の検討・提言
平成19年度	「〔仮称〕協働のまちづくり推進条例検討委員会」発足（2月）	協働のまちづくりパイロット事業（お宝再発見事業）
平成20年度	「〔仮称〕協働のまちづくり推進条例検討委員会」	協働のまちづくり事業（市民力パワーアップ講座）
平成21年度	協働のまちづくり推進条例の制定・施行（4月予定）	



会場からの質問も多く出され、大変好評な会となりました。

今後、私たちはさまざまな現場で自治会をはじめ、いろいろな団体とのコミュニケーションを図りながら市民活動を更に推進していきます。また、条例検討委員の一人として、現場の声を大切にしていきながら磐田市ならではの条例づくりを進めていきます。

近隣の市民活動センターを見てきました

平成20年度市民活動センター視察

6月9日、近隣の施設を4か所訪問しました。

① 掛川市横須賀の田園空間博物館 南遠州ととうもんの里 見学とNPO法人とうもんの会理事長名倉光子さんのお話

② 掛川市の大須賀市民交流センター、同大東市民交流センター見学

③ 袋井市協働まちづくりセンター「ふらっと」見学とふらっと運営会議会長（NPO法人たすけあい遠州理事長）稲葉ゆり子さんのお話

近場とはいいながら、参加者25名でハードなスケジュールで廻ってきました。

掛川市は、旧大須賀町・旧大東町との合併に伴う設置で、今年4月に大須賀及び大東支所に開設されました。

袋井市では、平成18年5月より、協働のまちづくりセンターとして稼働しています。

とうもんの里（横須賀）

とうもんの里では、横須賀の農家のおかあさんたちが地域のためにできることを、多岐に渡って実践している様子をお話しました

農業振興、歴史、自然、食育、地域案内などすべて自分のためになつていくということばが印象的でした。

「名倉さんのリーダーとしての姿勢と、あの人がやっているなら何か手伝おうか」という地域性にうらやましさを感じます。

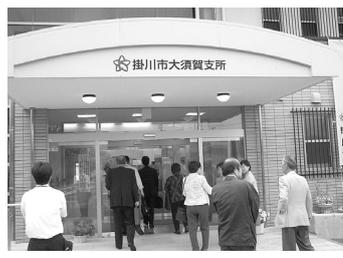


大須賀市民交流センター

新築した大須賀支所の1階部分は、JA夢咲農協と社会福祉協議会大須賀支所が入っています。

2階に共用の会議室と市民交流センターがあります。現在の登録団体数は67団体。さすが旧横須賀の城下町だけあってか、

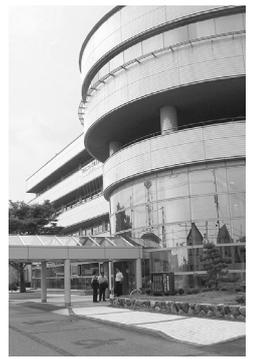
市民活動も盛んであるように感じました。



「有料」のスペースの利用方法も参考にしました。

大東市民交流センター

4階建ての旧大東町庁舎である大東支所。合併に際し、3階4階の空きスペースを有効活用してオープンでした。支所



を利用しての事務所機能では、セキユリティーに配慮した使い方方を学びました。

今後磐田市でも大いに参考に

になると思います。旧議場も有料で開放しており、おもしろい空間でしたが、利用者を増やすことがこれからの課題のようです。

協働まちづくりセンター「ふらっと」

平成17年旧浅羽町と合併し、協働のまちづくりへの指針が策定されました。協働提案事業も行われている中で、その拠点となるまちづくりセンターが平成18年5月オープンしました。

旧JAの支店を市が買

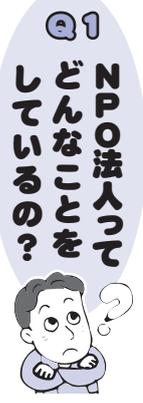


い取り、市民活動センターとして無償で貸与しています。運営会議会長稲葉ゆり子さんのお話では、求めてきた施設ではないが、去年は八千人弱の利用者があり利用する人たちの広がりが見えている様子でした。ここでも稲葉さんを中心にいつのまにか繋がりができ、利用団体個々での活動に今年の共通のテーマを盛り込むなどセンターを中心とした協働の形が見えていることを感じました。

この視察を参考に、より良いセンターを目指して協議していきたいと思えます。

NPOはむずかしい？

環境・健康・福祉・子育て等々生活が多様化している現在、行政や営利を目的とする企業にプラスして、幅広くきめ細かく対応できる民間の団体の必要になってきました。



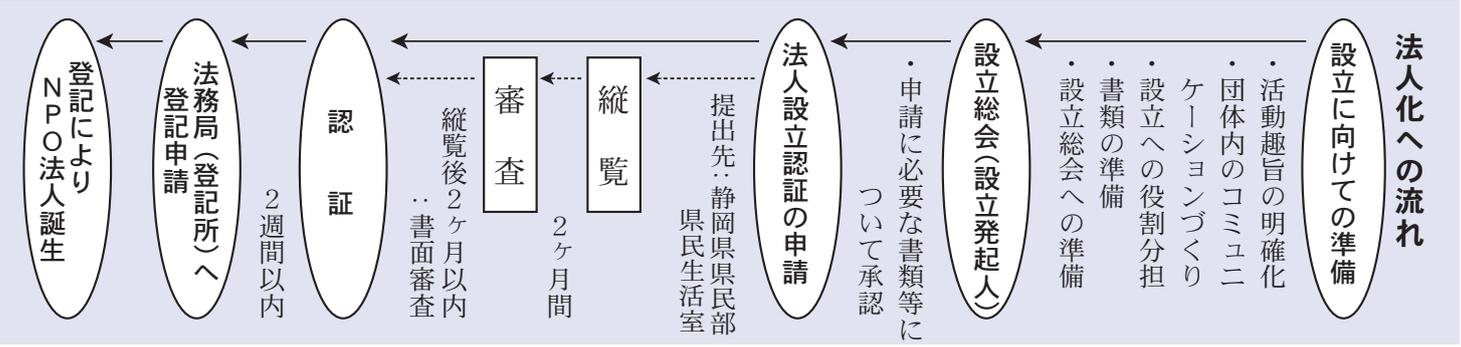
- Q1 どんなんことをしているの？**
- ⑬ 科学技術の振興
 - ⑭ 経済活動の活性化
 - ⑮ 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援
 - ⑯ 消費者の保護
 - ⑰ 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

公益（不特定多数のもの）の増進に寄与することを目的とします。次の17項目の活動に限定され、法律の中でも特定非営利活動として定義されています。

- ① 保健、医療又は福祉の増進
- ② 社会教育の推進
- ③ まちづくりの推進
- ④ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興
- ⑤ 環境の保全
- ⑥ 災害救援活動
- ⑦ 地域安全活動
- ⑧ 人権の擁護又は平和の推進
- ⑨ 国際協力の活動
- ⑩ 男女共同参画社会の形成の促進
- ⑪ 子どもの健全育成
- ⑫ 情報化社会の発展

Q2 取得するの？ どうなるの？

法人化することにより代表者個人の責任から組織としての社会的・対外的な信用が得られます。NPOの団体名義でさまざまな業務委託の契約締結や支援を受けることへの可能性が広がり、継続的に活動していくことができます。



…NPO・市民活動なんでも相談… 出前もOK TEL & FAX 0538-36-1890 磐田NPO交流センター

- ◆ ボランティアをやってみたい
 - ◆ グループ作りや運営について分からない
 - ◆ グループの活動資金はどうしたらよいか
 - ◆ NPOやNPO法人について知りたい
 - ◆ NPO法人化を考えたが…
 - ◆ NPO法人化の準備の方法は？
 - ◆ NPO法人の運営について困っているが…
 - ◆ 個人・グループ・団体の皆さん！
無料で相談に応じます。
- NPO法人設立アドバイザーが対応します。
- *これまでの相談状況***
- | | |
|--------|-----|
| 平成18年度 | 86件 |
| 平成19年度 | 83件 |
- お気軽にどうぞ：事前ご連絡をお願いします。
- *「NPOって何?」「NPO法人事務の手引」(H19年度改訂版) (旧県民部NPO推進室発行)の小冊子、用意してあります。

● 磐田NPO交流センター通信 第22号 平成20年8月1日発行

● 編集・発行／磐田NPO活動推進協議会
〒438-0078 磐田市中央町112-4
TEL (0538)36-1890
E-mail: iwata-npo@za.tnc.ne.jp

● 監修／磐田市総務部自治振興課
〒438-8650 磐田市市府台3-1
TEL (0538)37-4811
印刷所／中央印刷株式会社

編集後記

市民活動の仲間からの情報で四十年ぶりでしょうか、「ホタル観賞ツアー？」に行きました。

ポワッと大きく長く光るゲンジボタル、低いところでチカチカ光るヒメボタルそれぞれに美しい輝きの乱舞です。

闇の中で癒されたひと時を過ごしました。

チャンスのなかつた方、来年5月末頃からを楽しみに待って下さい。

ホタルの為にも改善された環境に感謝！です。

さくらんぼ

